

説教余滴、2017年12月10日、スペイン その2

この10月1日には、分離独立を推進するカタルーニャ地方の国民投票が行われています。勿論全国ではなく、州民投票と呼ぶべきでしょう。賛成票が多数と伝えられましたがその後、中央政府の反対表明、暴力的取締りで収まっているようです。

日本の国は、ずいぶん昔からスペインと交渉がありました。1618年、慶長遣欧使節団、支倉常長。

奥羽の雄、伊達正宗が派遣した。帰国したときには、キリシタンは弾圧される時代になっていた。

戦国時代、日本に火縄銃をもたらしたのはスペインの船です。

1543年にポルトガル船が種子島に漂着し、火縄銃を日本に伝えた時に始まる。1550年には平戸にポルトガル船が来航し、領主松浦隆信に商館設置が認められいわゆる南蛮貿易が始まった。1580年には日本初のキリシタン大名となっていた大村純忠は長崎港周辺をイエズス会の教会領として寄進し港の占有使用权もイエズス会に与えています。

スペインはフィリピン総督の使節として1592年にドミニコ会、1593年にフランシスコ会の宣教師を日本に派遣し豊臣秀吉に謁見し、布教を開始しました。

1枚のMDがあります。息子が音源からダビングしてくれました。表題は『セレブレーション・オブ・クリスマス』。アメリカ人のナタリー・コールとスペイン人のテノール歌手ホセ・カレーラス、プラシド・ドミンゴが共演しています。オペラでは三大テノールと呼ばれる二人、ジャズ、ポップス歌手として人気の高い女性。良くコントロールされた美声が、21曲を歌います。

ちなみにナタリーは、日本でも人気の高いナット・キング・コールの娘さん。

スペイン語の歌『ナヴィダド（誕生）』もあります。スペインは古くから熱心なカソリックの国として知られています。16世紀以来、新大陸の富が、イベリア半島にもたらされました。

その陰で、どれほど非道な略奪が行われたか、国王は知らなかったようです。